

特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書類 記載要領等

B② 船員法適用船舶
(船員手帳滅失時)

→ 第3号様式 特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書(一般用)
又は第4号様式 特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書(自己証明用)

<記入例(表)> 第4号様式(自己証明用)の場合

第4号様式(表)

特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書(自己証明用)

(申請者)

氏名	海枝 華子	乗船期間中の勤務先	職名	船長
本籍の都道府県名	北海道		名称	MLIT海運(株)
生年月日(西暦)	1990年2月2日		所在地	〇〇県××市△△1-2-3
現住所	東京都千代田区霞が関2-1-3		電話番号	XXX-XXX-XXXX

地方運輸局長
運輸支局長 殿
海事事務所長

私の乗船履歴は裏面記載のとおり相違ないので認定願います。
(申請者名) 海枝 華子
(記 名) 海枝 華子

【追加証明】
4. 特定操縦免許制度に係る乗船履歴の確認事務の取扱いについて(令和6年3月29日国海技第621号)2.ロに規定する特段の事情により申請者が所属する団体が証明者する場合

証明者の氏名	田中 太郎	所属団体	名称	●●旅客船協会
証明者との関係	所属旅客船協会		所在地	〇〇県●●市××1-2-3
証明者の現住所	〇〇県●●市△△1-2-3		電話番号	YYY-YYY-YYY
職 名	会長			

地方運輸局長
運輸支局長 殿
海事事務所長

当 〇〇旅客船協会 所属の 海枝 華子 の乗船履歴は、裏面記載のとおり相違ないことを証明します。
(団体名) (申請者名)

2024 年 5 月 30 日 (記名) 田中 太郎

<(令和6年3月29日国海技第621号)2.ロ(一部抜粋)>
(※マリーナ等による乗船履歴の証明が困難な特段の事情があると認められる場合であって、申請者が所属する団体(旅客船協会、漁業協同組合等)の長がその履歴を証明できるときは、マリーナ等による乗船履歴の証明に代えて、当該所属団体の長による証明を提出することができるものとする。)

※マリーナ等...他の船舶所有者又は居住する市町村の長若しくは係留施設の管理者

【追加証明】の1~4うち該当する欄を使用(該当しない欄は削除して使用する)

— 乗船履歴のカウント方法 —

- 船員法上の雇入期間(雇入日~雇止日)
※が乗船期間となります。
※ 雇入期間が「不定」の場合、官庁公認印の日付から雇止日まで
- 病気休暇、有給休暇その他の自己都合による休暇を取得した期間は乗船日数にカウントできませんので、「乗船日数」の欄にはこれらを除外した日数を記入してください。

<記入例(裏)>

第4号様式(裏)

乗船順位	船舶名	船舶所有者	総トン数	航行する区域	職名	乗船した年月日	下船した年月日	乗船期間
1	海枝丸	海枝 華子	45トン	沿海	船長	2024年 2月18日	2024年 5月15日	3月0日 年
2	〃	〃	〃	〃	〃	2023年 10月1日	2023年 12月15日	2月15日 年
3	国交丸	〃	199トン	〃	〃	2023年 4月15日	2023年 7月31日	3月17日 年
4	〃	〃	〃	〃	〃	2022年 11月25日	2023年 1月31日	2月7日 年
5	〃	〃	〃	〃	〃	2022年 8月15日	2022年 10月14日	2月0日 年
6	〃	〃	〃	〃	〃	2022年 4月1日	2022年 6月30日	3月0日 年
7						年 月 日	年 月 日	年 月 日
8						年 月 日	年 月 日	年 月 日
9						年 月 日	年 月 日	年 月 日
10						年 月 日	年 月 日	年 月 日
11						年 月 日	年 月 日	年 月 日
12						年 月 日	年 月 日	年 月 日
13						年 月 日	年 月 日	年 月 日
14						年 月 日	年 月 日	年 月 日
15						年 月 日	年 月 日	年 月 日
16						年 月 日	年 月 日	年 月 日
※照合者認印						※(認定)		年 月 日
						期間の合計		1年 4月 9日

注1. ※欄は記入しないでください。